

別海町歴史文化遺産「旧別海村村営簡易軌道風蓮線上風蓮停留所機関庫・油庫」について

平成 29 年 3 月 別海町教育委員会生涯学習課

本物件は、別海村村営簡易軌道風蓮線（以下「村営軌道風蓮線」）の終点である上風蓮停留所に設置された機関庫と油庫である。

村営軌道風蓮線は、1963（昭和38）年12月14日に奥行臼一学校前間9.880kmが開通し、翌年10月20日には役場支所や雪印の集乳所がある上風蓮停留所まで延長し、奥行臼一上風蓮13.200kmが開通した。しかし、急速な道路整備と自動車の普及による運賃収入の低迷に加え、国からの補助金の打ち切りが決定打となり、1971（昭和46）年3月31日をもって廃止され、僅か7年余りの歴史を閉じた。



写真1 機関庫現況

上風蓮機関庫は簡易軌道各種車両の2線式車庫として1964（昭和39）年に建設されているが、正確な竣工月日は不明であり、遅くとも上風蓮停留所に延伸した時までには完成していたと考えられる。また燃料保管庫であった油庫は、機関庫東側の窓を覆う形で作られており、後に増築されたことがわかる。建築年月日は不明である。

建物の構造はブロック造平屋建で、機関庫・油庫の延面積はそれぞれ72.92㎡、18.18㎡である。なお、1963（昭和38）年に3線式の機関庫が奥行臼停留所に設置されており、現存する。

村営軌道風蓮線廃止後、上風蓮機関庫はスクールバスの車庫として転用され、その後上風連連合町内会の倉庫として現在に至るまで活用されている。



写真2 油庫現況



写真3 当時の機関庫（左奥、1968年）新井清彦氏撮影

参考文献

- 『別海町百年史』（1978年）
- 「広報べつかい」昭和39年1月20日号、昭和46年4月1日号
- 『昭和四十九年度 軌道財産関係』（別海町郷土資料館蔵：60231）
- 『簡易軌道風連線（土地改良財産）譲与申請書原稿』（別海町郷土資料館蔵：60225）
- 『旧軌道関係書』（別海町郷土資料館蔵：60236）
- 『別海村簡易軌道風蓮線設計図面』（別海町郷土資料館蔵、電腦工房デジタル化版製作）
- 今井理・森川幸一『簡易軌道写真帖』モデルワーズ、1997年